

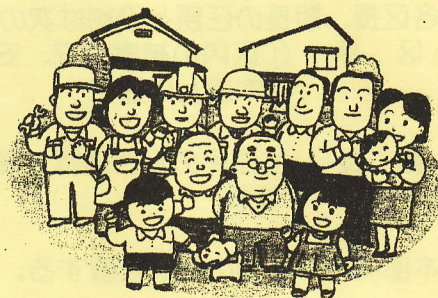
大震災に向けた船田町会の防災対策について

11年8月13日

船田町会

< 内 容 >

- 1 はじめに
- 2 自主防災会の平常時のあり方
- 3 災害時における防災活動のあり方
- 4 各家庭で事前に準備しておく物
- 5 災害に備え、地域実態を把握します
- 6 災害時における船田町会自主防災会組織表



1 はじめに

3月11日に発生した東日本大震災以降、東北地方を中心に連続して余震が発生しています。そればかりでなく、長野や静岡を震源地とした新たな地震も発生し、不安を高めています。

6月9日、政府の地震調査委員会は東日本大震災を契機にして、全国の活断層活動が活発となり、牛伏寺断層(長野県)、双葉断層(福島県)、立川断層(東京都)での地震の発生確率が高まった可能性があるとして発表しました。

政府の防災中央会議では、立川断層帯で地震が起きた場合は、東京を中心に最大で48万棟が全壊し、死者は6千3百人にのぼると想定しています。同委員会では「立川断層帯はもともと主要断層の中でも発生確率がやや高いグループ」「これまでと同様に地震発生に備え、防災対策をとってほしい」とよびかけています。

こうした新たな状況を迎えるなかで、町会は定期総会の経緯をふまえ、7月9日に第1回防災対策検討委員会を開催して、船田町会の自主防災会の現状、平常時及び災害時における自主防災会の活動の基本的な考え方、自主防災会の組織のあり方、対策本部の設置と役割など、多角的に検討しました。引き続き、7月23日、8月13日に検討委員会を開催し、次の点について確認しあうことができました。不十分な点については今後の取り組みの中で克服していきますが、決定した事項は次のとおりですので町会の皆様には大震災が起きた場合の対応についてぜひ事前の一読し、理解しておくようお願いいたします。

2 自主防災会の平常時の活動のあり方

- ①防災に対する知識と心構えの啓蒙活動の展開
- ②災害発生を抑制するための活動強化(家具の安全診断・固定、建物や塀の耐震診断)
- ③防災訓練の実施(消火訓練、避難訓練、救出救護訓練、給水訓練)
- ④災害に備え地域実態の掌握(一人暮らし、要介護者、避難場所の把握、危険箇所の把握、防災マップの作成)
- ⑤防災資器材の点検と充実
- ⑥会員の拡大と防災リーダーの養成
- ⑦各区長は、自主防災会の構成メンバーとして活動参加

3 災害時における防災活動のあり方

平常時の防災活動については、前記したように自主防災会が中心になって行いますが、災害時には、町会のすべての役員と自主防災会が一体となって、組織的に対応していくこととします。なお、災害時に防災対策本部に携わる関係役員については、年度初めに任務と役割を明確にして責任体制を確立し、問題の生じないよう意思統一を図っておきます。

(1)町会は災害時に別紙のとおり災害対策本部を設置する。

(2)対策本部の役員の構成及びその任務と役割は次のとおり

本部長 町会長 ①総括責任者 ②市対策本部との連携

副本部長 副会長(6) 協力団体代表(8) ①本部長の補助 ②各区長との連絡調整

本部付 書記(2) 会計(1) 民生児童委員(2) 自主防災会 ①本部が行う全ての業務の補助

(3)各区長、組長の任務と役割は次のとおり

区長 ①区内の被害状況、安否の確認 ②避難場所への誘導 ③避難場所での住民への指示
④本部との連携

組長 ①住民の安否確認・要介護者への援助 ②給食給水班の設置 ③区への報告および情報交換

(4)本部の中に5つの班を設置する。()内の○は担当責任者

情報班 (○副会長・船田友愛会・自主防災会)
①町会内の人身・家屋等の被害状況の把握 ②防災機関から周辺の被害状況の把握

防火班 (○副会長・防犯部・自主防災会)
①火災の警戒任務 ②初期消火活動(バケツリレーをはじめ各家庭の消火器を集め消火活動) ③飛び火の警戒 ④火災が発生した場合は消防機関への通報

救出救護班 (○副会長・ひだまり会・自主防災会)
①救護所の設定、応急手当、安全地帯への搬送、医師の派遣要請 ②防災資器材を活用し建物の下敷きになった場合の救出活動 ③行政機関への救出要

避難誘導班 (○副会長・交通安全部・自主防災会)
①避難命令の伝達 ②避難場所へ住民を誘導 ③避難通路の安全性の確認 ④避難者の人員確認と掌握 ⑤介護が必要な人への援助

給食給水班 (○副会長・レディースクラブ・子ども会・自主防災会)
①備蓄食料等による炊き出し ②救援物資(食事・飲料水等)の避難場所への運搬および分配

(5)一時集合場所

- | | | |
|--------------------------|-------|-----------------------|
| <input type="checkbox"/> | 人形塚公園 | 1区、2区、3区、4区、6区、9区、10区 |
| <input type="checkbox"/> | 見晴台公園 | 8区 |
| <input type="checkbox"/> | 船田会館 | 5区、7区、12区 |
| <input type="checkbox"/> | 船田小学校 | 11区 |

(6)避難場所

- 長房小学校
11区のみ 船田小学校
☆本部と避難場所との連絡要員は自主防災会が担当

4 各家庭で事前に準備し確認しておく物

1 非常持ち出し品の用意(家族構成によって必需品の優先順位は変わってくる)



- (1) 携帯ラジオ、懐中電灯、非常食・飲料
- (2) 飲み水と食料品は3日以上
- (3) 常備薬

2 家具の転倒防止

- (1) 寝室、子ども部屋には転倒するような家具は置かない
- (2) 日頃から家庭内で安全の場所を確認しておくこと

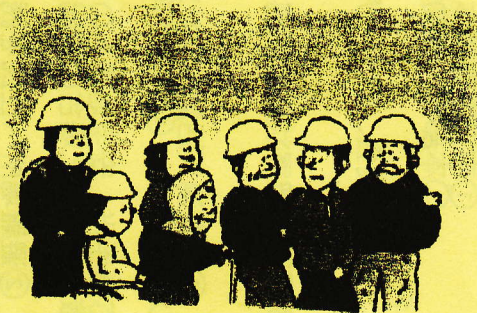


3 居住エリアの一時集合場所、避難場所の確認

- (1) 一時集合場所 人形塚公園、見晴台公園、船田会館、船田小学校
- (2) 避難場所 長房小学校

4 災害用伝言ダイヤルの活用

- (1) 1 7 1
- (2) 録音の場合 1 再生の場合 2
- (3) 市外局番から番号を入れる
- (4) 録音(30秒以内)
- (5) プッシュボタン式は1、 #入力



5 携帯電話の災害用伝言板

災害用伝言板についてのホームページ

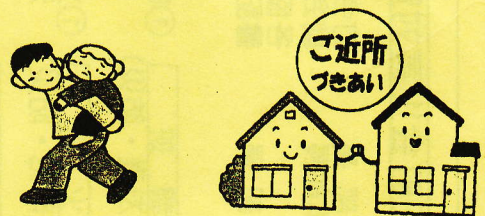
- NTTドコモ <http://www.docomo.co.jp/>
- au/T U K A <http://www.kddi.com/>
- vodafone <http://www.vodafone.jp/>

6 あれば便利 防災グッズ

現金、ラップ、ゴミ袋、ガスボンベ
トイレットペーパー、ウェットティッシュ、生理用品、水のいないシャンプー
のこぎり、パール、金槌、多機能ナイフ

7 復旧の目安

- ガス ~ 2~3ヶ月
- 電気 ~ 7日間ぐらい
- 水道 ~ 1ヶ月ぐらい
- 電話 ~ 14日間ぐらい



5 災害に備え、地域実態を把握します

震災等に備え、町会は地域の実態を把握するために次の事項を調査しますので、会員の皆様のご協力をお願いいたします。

- (1) 一人暮らし
- (2) 要援護者(高齢者、寝たきり、目や耳・音声、肢体の不自由な人)
- (3) 井戸水の所有者
- (4) 危険箇所
 - ①道路 ②崖・土手・傾斜地 ③河川 ④避難ルートブロック塀、看板、野積みの資材 ⑤その他
- (5) 貯水槽
- (6) 防災資器材